

2016年 5月 9日

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会加盟館 各位

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会研究会運営委員長校
愛知大学図書館
図書館長 荒川 清秀
(公印省略)

2016年度図書館実務担当者研修会の開催について(ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は協議会の活動に関しまして、格別のご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本研究会では、標記の研修会を下記の通り開催する運びとなりましたので、貴館実務担当者のご参加をお取り計らいますようお願い申し上げます。

つきましては、参加の有無を別紙「参加申込書」にて 6月3日(金)までにE-mail 添付にて下記連絡先宛にご返信ください。また、ご質問およびご不明な点がございましたら、同じく連絡先までお問い合わせください。

ご多忙中のこととは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記

日 程： 2016年9月1日(木)、2日(金)

会 場： 名古屋女子大学 (南8号館 401教室)
地下鉄「瑞穂区役所前」駅(名古屋女子大学前)下車
1番出口東300m

交通アクセス <http://www.nagoya-wu.ac.jp/access/>

※会場へは公共交通機関でお越しください。

内 容： 別紙「実施要領」および「ワーキング紹介」のとおり

連絡先： 名古屋女子大学学術情報センター(担当：澤木・尾崎)

E-mail： stafflib@nagoya-wu.ac.jp

Tel : 052-852-9768(直通)

2016年度 図書館実務担当者研修会実施要領

1. 主 催： 私立大学図書館協会 西地区部会 東海地区協議会研究会
2. 目 的： 図書館実務担当者の能力向上を図るとともに、実務担当者同士の交流を深め、業務の円滑な運営をめざす
3. 日 程： 2016年9月1日(木)、2日(金)
※ 2日間のご参加を前提としますが、宿泊はありません
4. 会 場： 名古屋女子大学 (南8号館 401教室)
5. 対 象： 本協議会加盟館に勤務する実務担当者
※ できるだけ多くのスタッフの方々へご周知いただければ幸いです

6. テーマ： これからの大学図書館員力

中央教育審議会答申(平成24年8月)等により、学生の主体的な学びを促すアクティブ・ラーニングが推進されていることを背景とし、全大学の52.8%にアクティブ・ラーニング・スペースが設置されるなど、各大学で学習環境の整備が進められています。同時に、大学図書館が学修支援に参加することが求められ図書館員の業務は多様化しています。その一方で従来から持つ学術情報の収集・利用・発信といった基盤の整備・充実も必要です。

今回の研修会では、これら多様化する大学図書館員の活動にとって、大いに参考となるワーキングを設け、各テーマに精通する講師の指導のもと、現場で活かせる図書館員力を身につけることを目標とします。

7. 内 容：

- | | | |
|-------|-------------|----------------------------|
| 【第1日】 | 10：00～ | 受付 |
| | 10：30～10：45 | オリエンテーション・会場校挨拶・各グループ会場へ移動 |
| | 10：45～12：00 | 【グループワーキング】※別紙2をご参照ください |
| | 12：00～13：30 | 昼食 図書館見学(希望者) |
| | 13：30～17：00 | 【グループワーキング】※別紙2をご参照ください |
| | 17：30～19：30 | 意見交換会 |
| 【第2日】 | 10：00～12：00 | 【グループワーキング】(第1日の続き) |
| | 12：00～13：30 | 昼食・交流会 |
| | 13：30～16：00 | 【グループワーキング】まとめ・発表準備 |
| | 16：00～17：00 | 全体発表 |

8. 課題：

課題の有無、連絡はワーキング決定後、各ワーキングより連絡します。

9. 参加費： ・研修会参加費 2,000円

(昼食は用意いたします)

・意見交換会参加費 4,000円 (参加希望者のみ)

意見交換会場所：PIZZA SALVATORE CUOMO 瑞穂

(名古屋市瑞穂区瑞穂通 2-2-2 サニーストン瑞穂 1F)

※研修会参加費、意見交換会参加費は当日集めさせていただきます。

10. 参加申込方法：

【別紙1】の「参加申込書」に必要事項を記載し、6月3日(金)までにE-mail添付にて下記宛にご返信ください。

<送付先> 名古屋女子大学学術情報センター (担当：澤木・尾崎)

E-mail： stafflib@nagoya-wu.ac.jp

11. ワーキング決定通知：

6月下旬にワーキング決定のお知らせいたします。

【別紙 1】

名古屋女子大学学術情報センター（担当：澤木・尾崎） 宛

E-mail: stafflib@nagoya-wu.ac.jp

2016年度図書館実務担当者研修会 参加申込書

図書館名： _____

ご出席 ・ ご欠席

氏名 ふりがな	担当業務		参加希望ワーキング		意見 交換会
	業務 担当年数	図書館 在籍年数	第1希望	第2希望	
E-mail アドレス					
	年	年			
	年	年			
	年	年			

【参加希望ワーキングの記入方法について】

以下のワーキングのうち、希望するワーキングに付された記号（A～C）をご記入ください。

- A. ポスター作成を通じて発信力を強化する
- B. 学修支援のための情報リテラシー教育実習
- C. 図書館を知る<図書館員としての基礎力>

※各ワーキングの詳細につきましては、【別紙 2】をご参照ください。

なお、できる限り第1希望にご参加いただけるよう調整を図りますが、ご希望に添えない場合がありますことを予めご了承ください。

【意見交換会について】

意見交換会に参加される方は○印をご記入ください。

※研修会に参加されない場合も「参加申込書」をご返信ください。

2016年度図書館実務担当者研修会 ワーキング紹介

A. ポスター作成を通じて発信力を強化する

講 師	遠藤 潤一 氏（金城学院大学国際情報学部国際情報学科 講師）
担当委員	田中（金城学院大学）＊，石田（南山大学），小林（愛知医科大学），小野（愛知大学）
内 容	<p>【ワークのねらい】 デザインの専門家による講義や実習を通じて、効果的なポスター作成技法を学び、図書館の発信力向上を図る。</p> <p>【ワーク内容】 事前課題にて作成したポスターと、ワーキングを通じて技法を学び作成したポスターを比較することにより、ワーキングの成果を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題について発表 ・講義 ・ポスター作成実習 ・作成したポスターについて意見交換 <p>※受講条件 PowerPoint を使用したことがある方</p>
募集人数	15 名
事前課題	PowerPoint により参加者自身が作成したポスターデータを事前に提出する。テーマ・サイズは自由とする（今までに業務で作成したものでも構わない）。事前に提出されたポスターは、講師・参加者間で共有する。

＊は研修担当委員（ワーキングリーダー）

B. 学修支援のための情報リテラシー教育実習

講 師	野末 俊比古 氏（青山学院大学教育人間科学部 准教授）
担当委員	天野（椋山女学園大学）＊，石川（日本福祉大学），澤木（名古屋女子大学），浜里（愛知大学）
内 容	<p>【ワークのねらい】</p> <p>図書館で学修支援を行う際の基礎、情報リテラシー教育についての基礎的な事項と、図書館員が情報リテラシー教育を展開するために必要な知識と技術を講義とアクティブラーニングを通して学ぶ。</p> <p>【ワーク内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報リテラシーとは何か、なぜ情報リテラシー教育が必要なのか？（講義） 情報リテラシーについての概論的な知識、現在の日本や世界における情報リテラシー教育の動向などをふまえたうえ、なぜ、今図書館で情報リテラシー教育を行う必要があるかについて、講師による講義から理解する。 ・情報リテラシー教育に必要な知識とスキルの確認（ブレインストーミングまたはグループディスカッション） 講義で学んだこと等をふまえたうえで、情報リテラシー教育に必要な知識とスキルを確認する。 ・情報リテラシー教育を組み立てる（ワーク） 所属館で行える、情報リテラシー教育を組み立て、グループ内で共有することで客観的な視点で相互評価を行うなど、実践可能な情報リテラシー教育を創る。
募集人数	20 名
事前課題	<ul style="list-style-type: none"> ・所属館で行っている情報リテラシー教育の内容、または学修支援の内容をワークシートに記入し期日（7/31）までにメールで提出する。 ・情報リテラシー教育に関するチェックシートなどで、各館の現状を把握する。

＊は研修担当委員（ワーキングリーダー）

C. 図書館を知る<図書館員としての基礎力>

講 師	坂口 雅樹 氏（東京都立図書館協議会委員、元明治大学和泉図書館事務長） 鈴木 卓美 氏（金城学院学院資料室） 安東 正玄 氏（立命館大学学術情報部図書館管理課） 石川 敬史 氏（十文字学園女子大学准教授）
担当委員	尾崎（名古屋女子大学）*，島田（愛知大学），坂東（名古屋学院大学），池戸（岐阜聖徳学園大学），山際（皇學館大学），近藤（中部大学），水谷（東海学園大学），沖（名古屋造形大学・同朋大学）
内 容	<p>【ワークのねらい】</p> <p>図書館の各業務について、概要・意義・動向などを講座形式で知見を得るとともに、グループ・ディスカッションによって講師を交えた参加者との情報交換・情報共有を行い、業務を含めた図書館の概観理解と、人的ネットワークを深める。</p> <p>【ワーク内容】</p> <p>講座研修とグループ・ワーク（ダイアログ、グループ・ディスカッション）</p> <p>講座① 大学図書館員マインド：コツコツからワクワクへ 講師 坂口 雅樹 氏（東京都立図書館協議会委員、元明治大学和泉図書館事務長）</p> <p>講座② 目録を作成するうえで大事なこと、役に立つこと 講師 鈴木 卓美 氏（金城学院学院資料室）</p> <p>講座③ 電子リソースの最新事情 （電子教科書、ディスカバリー等）から見える、大学図書館の現状と課題 講師 安東 正玄 氏（立命館大学学術情報部図書館管理課）</p> <p>講座④ ビジョンを実現するために「現場」で統計を視る 講師 石川 敬史 氏（十文字学園女子大学准教授）</p>
募集人数	25名
事前課題	<p>1. 課題資料（講座①）</p> <p>参考文献1 『読書の世界 たった一人の図書館』 https://m-repo.lib.meiji.ac.jp/dspace/bitstream/10291/15791/1/shisakunoumi_2001_103.pdf</p> <p>参考文献2 『プロフェッショナル、エキスパート、スペシャリスト』 https://m-repo.lib.meiji.ac.jp/dspace/bitstream/10291/2163/1/toshokankiyo_3_65.pdf</p> <p>2. ワークシートの提出（講座②、④）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目録を作成するうえで困っていること、聞いてみたいこと ・自館で実施している統計及びその問題点、改善点

*は研修担当委員（ワーキングリーダー）